

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3rdQ	1年	2単位	選択
担当教員			
牟田 美信			
講義概要	<p>将来、ホテル・航空・旅行業界などのホスピタリティビジネス（サービス業）に従事しようと考えている者が、実際のサービスの在り方を学び、働くことの本質を体験から学ぶ。 「ギャップイヤー事前指導」でインターンシップ参加に必要な知識を得た後、インターンシップに参加することになる。 インターンシップ期間中は、担当教員が各施設を訪問し、現場担当者との意見交換を実施し、インターンシップ状況を確認する。参加者はレポートを毎週提出する。 インターンシップ終了後、インターンシップ日誌及び職場担当者の評価を提出してもらう。 同一の職場での継続、又は異なる職場でも構わないが、60時間以上の就業体験をもって評価を行う。</p>		
授業計画	インターンシップ先で就業体験をする。		
授業形態	実習		
到達目標	<p>本科目をインターンシップⅢ（応用）と位置づけ、5つの指標を到達目標として設定する。</p> <p>①【自己変革】長所・強みを仕事に活かすよう努めることができる。 ②【主体性】社会・実習先の帰属意識を高め、周囲の状況を判断し積極的に自分ができることを探すことができる。 ③【規律性・忍耐力】自分の取り組みの中で新たな課題を発見し、目標を追加・再設定した上で、確実に役割・目標を全うできる。 ④【ストレスコントロール力】自分が負担・ストレスに思うことを解決する具体的な方法を発見することができる。 ⑤【良い行いの習慣化】周囲の社員の行動を見つめなおし、自分の役割を洗練させることができる。</p>		
評価方法	インターンシップ期間中及び終了後の提出物で評価する。		
評価基準	インターンシップ日誌・週レポート（80%）、職場担当者の評価（20%）		
教科書・参考書	授業中に指示をする。		
履修条件	「ギャップイヤー事前指導」の単位を修得し、「ギャップイヤー事後指導」を履修すること。		
履修上の注意	インターンシップに参加するという明確な意識を持ち、日頃の学習態度、服装等に注意を払うこと。学習態度や髪型等がインターンシップに不適切であると判断した場合は、参加を辞退してもらう。		
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） *その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可		
備考・メッセージ	インターンシップに参加することで、自分の適性を知ることができ、働くことの自信に繋がります。積極的に参加することを勧めます。		